

# 岐阜県家畜伝染病防疫対策本部 第6回本部員会議

日時：平成30年9月27日（木）15時～

場所：県庁4F 特別会議室

## I 監視対象農場等への対応について

## II 野生いのしし対策について

## I 監視対象農場等への対応について

### 1 経緯

9月 9日 (日)	豚コレラ患畜確定 (PCR検査 陽性) 監視対象農場出荷自粛、と畜場営業自粛
11日 (火)	発生農場の防疫措置完了
12日 (水)	県内全農場からの報告、立入検査、遺伝子検査等開始 ※9月26日までに延べ23農場に立入り、 PCR検査11検体、すべて陰性。
18日 (火)	「岐阜県衛生監視プログラム」「岐阜県と畜場再開バイオセキュリティ要件」決定 ※監視対象農場出荷予定の豚全頭の遺伝子検査、 毎日2回の状況報告など
21日 (金)	監視対象農場からのと畜場への搬入開始

### 2 搬出制限区域の解除

発生農場を中心とした半径10km以内に設定した「搬出制限区域」については、発生農場の防疫措置完了後17日が経過した後に、清浄性確認検査を実施し陰性であることが確認されれば、国との協議を経て、搬出制限を解除。

- ・対象：搬出制限区域内 3農場
- ・清浄検査：抗体検査及び遺伝子検査
- ・解除予定日：9月29日0時
- ・消毒ポイントの閉鎖：  
解除に合わせ、発生農場から10km地点の消毒ポイント4箇所を閉鎖

### 3 監視対象農場における制限解除

発生農場との最終接触日から21日経過した日をもって「岐阜県監視対象農場衛生監視プログラム」の適用期間が終了。清浄性確認検査を実施し、陰性であることが確認されれば、国との協議を経て制限解除。

<監視対象農場>

豚コレラの患畜が確認された農場と同一の堆肥場を飼養していた農場、同一のと畜場を使用していた農場及び同一の獣医師に受診していた農場。

- ・対象：監視対象 13農場
- ・清浄検査：臨床検査、血液検査、抗体検査及び遺伝子検査
- ・解除予定日：27日（木）以降、各農場ごとに解除

なお、すべての監視対象農場の衛生監視プログラムの解除に伴い、出荷豚受入れ側のと畜場の「と畜場再開バイオセキュリティ要件」の適用を解除し、通常の衛生管理体制とする。

- ・解除予定日：9月30日

#### いのしし調査区域内における監視体制の継続

当初発生農場以外に豚での豚コレラは発生していないものの、野生いのししの豚コレラが発生している状況のため、現在のいのしし調査対象区域内の5農場に関しては、これまでの監視体制を当分の間、継続する。

- ・対象：5農場  
監視対象農場のうち、発生農場、豚コレラの感染源となりうると考えられる堆肥センター、豚コレラウイルスが検出された野生いのししを確保した地点から、各々半径10km以内の地域（いのしし調査対象区域）内にある養豚場
- ・内容：農家から詳細な状況報告（毎日2回）  
立入検査（週1回）
- ・監視継続期間：豚コレラに感染したいのししの最終発見・消毒から28日間

#### 4 野性いのししからの感染防止対策の拡充

いのしし調査対象区域内の15農場での豚コレラ発生を防止するため、野生いのししから養豚場への豚コレラウイルス侵入防止対策を強化。

##### (1) 養豚場への侵入防止策の実施

県内すべての農場において侵入防止柵の設置を支援

- ・ 畜舎の周囲に設置する「電気柵」を県から貸与。
- ・ 9月27日、調査対象区域15農場設置完了見込み。  
今後、県内全農場へ拡大。

##### (2) 防疫資材等の配布

###### ①消石灰

- ・ 敷地境界を中心に農場内を消毒するための消石灰を配布
- ・ 調査対象区域内15農場手配済み

###### ②その他資材

- ・ 堆肥からの汚染防止策として、農場内の堆肥を覆うためのブルーシートを配布
- ・ 畜舎毎に専用の防護服、長靴及び消毒用コンテナ（畜舎入口に設置）を配布

資材名	数量
堆肥被覆用ブルーシート	79枚
畜舎専用作業着（防護服）	242着
畜舎専用長靴	121足
長靴消毒用コンテナ	242個

- ・ 調査対象区域内15農場手配済み

## Ⅱ 野生いのしし対策について

### 1. 豚コレラ感染が判明したいのししの状況

死亡または捕獲した66頭中6頭が陽性反応

### 2. 野生いのしし浸潤状況調査の実施

#### (1) 豚コレラ陽性判定の死亡いのしし確認地域における調査捕獲

岐阜市畜産センターを中心とする区域等において野生いのししの浸潤状況を把握するとともに個体数を減らすための捕獲を開始。

実施期間：平成30年9月25日（火）から1週間程度

調査地域：岐阜市椿洞地域、大洞地域 ※地図1

実施者：県、一般社団法人岐阜県猟友会（会長 大野恵章）12名

実施概要：くくりわなを設置し、いのししを捕獲

捕獲個体については県中央家畜保健衛生所で検査を実施

#### <参考> 岐阜市・岐阜市猟友会による調査結果

実施期間：平成30年9月22日（土）～23日（日）

調査地域：岐阜市三田洞地域、秋沢地域

調査結果・死亡いのししは確認されなかったが、野生いのししの生息を確認。状況としては、沢の岸部付近において足跡、通り道、掘起しが見られた。

・豚コレラ発生前と比べて、特に変わっていないと考える。

#### (2) 調査対象区域の外縁部における調査捕獲

調査対象区域の外縁部において野生いのししの浸潤状況を把握するための捕獲を実施する。

実施期間：平成30年9月27日（木）から1週間程度

※数日間の現地調査を行った後、捕獲作業に着手

調査地域：調査対象区域の外縁部に当たる地域 ※地図2

(対象となる市町村)

各務原市、本巣市、瑞穂市、山県市、関市、美濃市、  
美濃加茂市、北方町、岐南町、笠松町、大野町、揖斐川町、  
富加町、坂祝町

実施者：県、一般社団法人岐阜県猟友会（会長 大野恵章）71名

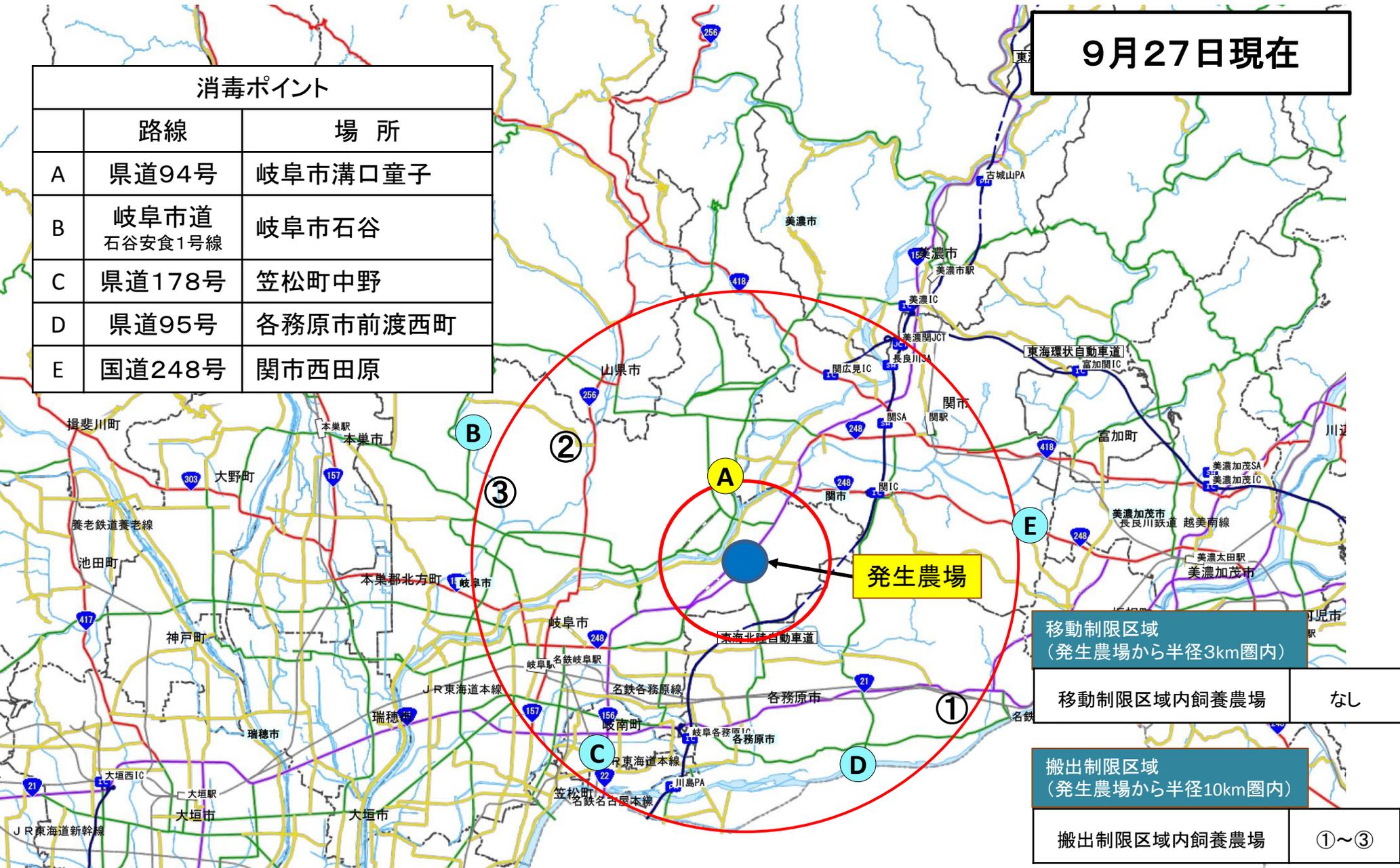
実施概要：くくりわな又は箱わなを設置して、いのししを捕獲。

捕獲個体については県中央家畜保健衛生所で検査を実施。

# 豚コレラ発生農場及び移動・搬出制限区域等

9月27日現在

消毒ポイント		
	路線	場所
A	県道94号	岐阜市溝口童子
B	岐阜市道 石谷安食1号線	岐阜市石谷
C	県道178号	笠松町中野
D	県道95号	各務原市前渡西町
E	国道248号	関市西田原



移動制限区域 (発生農場から半径3km圏内)	
移動制限区域内飼養農場	なし
搬出制限区域 (発生農場から半径10km圏内)	
搬出制限区域内飼養農場	①～③

9月27日現在

死亡いのしし  
(岐阜市椿洞)  
→陽性(9/19)(9/23)

死亡いのしし  
(岐阜市城田寺)  
→陽性(9/19)

堆肥センター

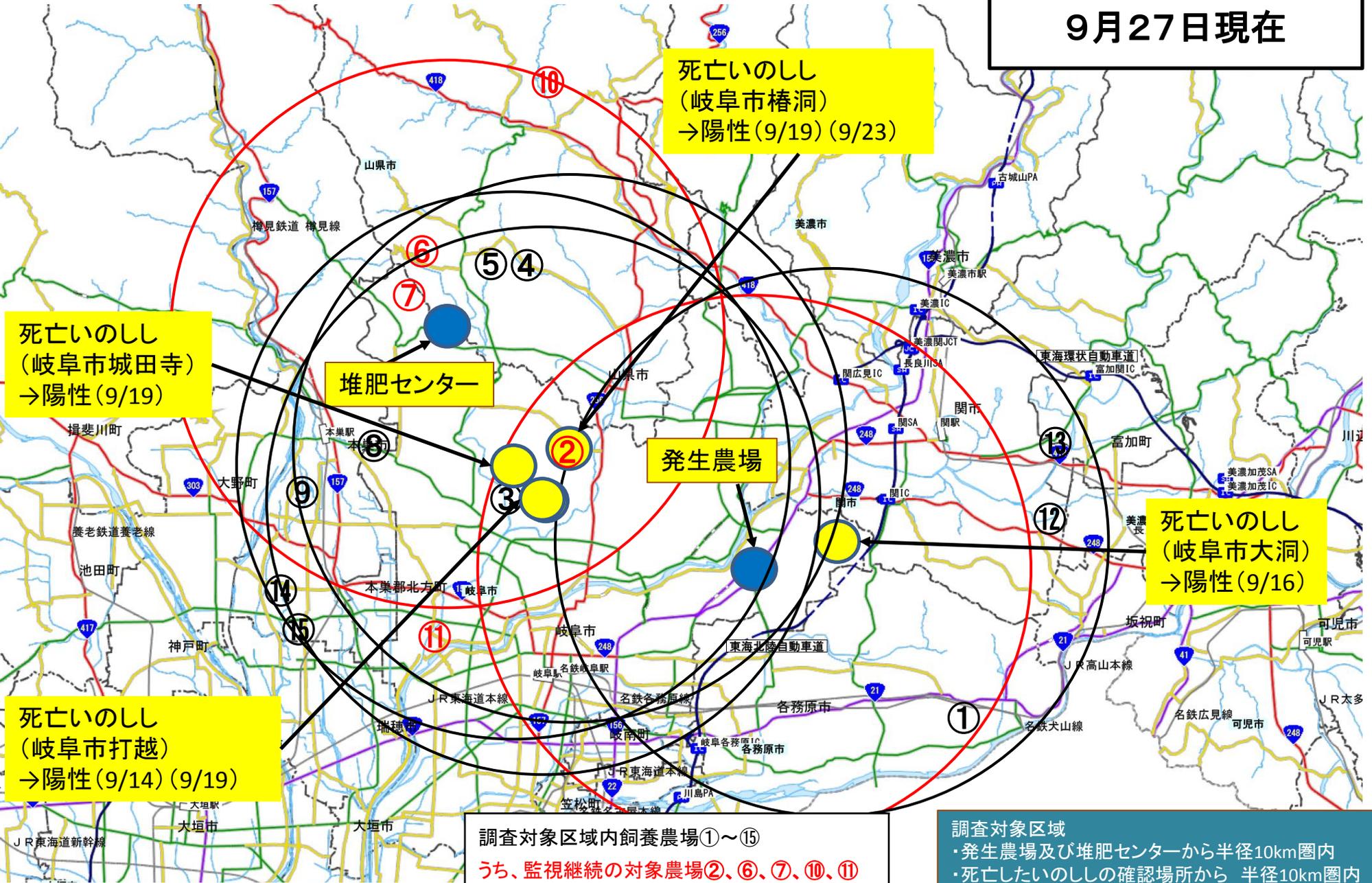
発生農場

死亡いのしし  
(岐阜市大洞)  
→陽性(9/16)

死亡いのしし  
(岐阜市打越)  
→陽性(9/14)(9/19)

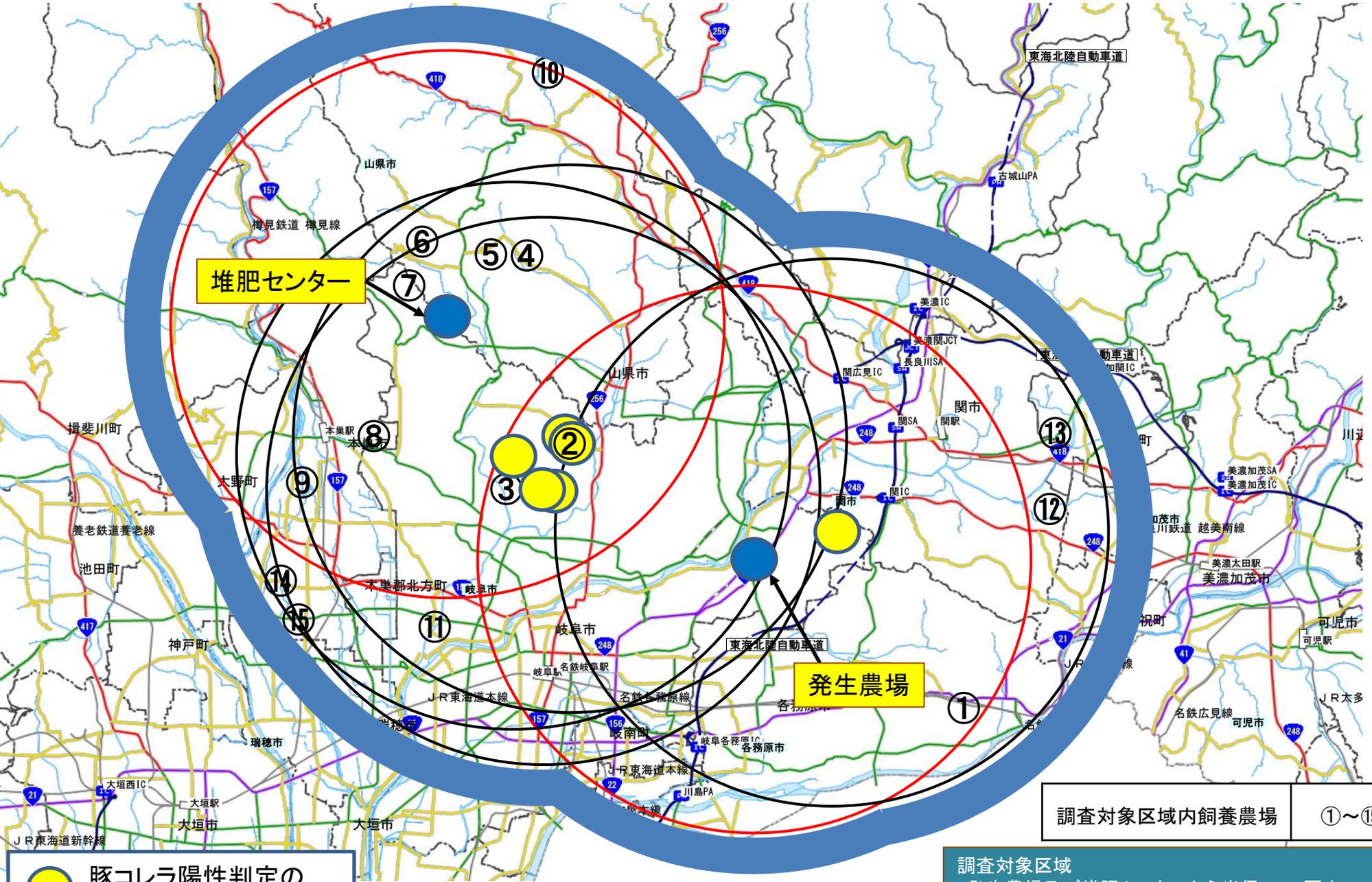
調査対象区域内飼養農場①～⑮  
うち、監視継続の対象農場②、⑥、⑦、⑩、⑪

調査対象区域  
・発生農場及び堆肥センターから半径10km圏内  
・死亡いのししの確認場所から半径10km圏内



地図1





堆肥センター

発生農場

調査対象区域内飼養農場 ①～⑮

調査対象区域  
・発生農場及び堆肥センターから半径10km圏内  
・死亡したいのししの確認場所から 半径10km圏内

豚コレラ陽性判定の死亡いのしし確認場所